

長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	63	事業名	一般介護予防事業	担当部課	福祉部長寿課
基本情報	第6次総合計画・基本目標	4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち	決算書ページ	—	
	行政改革指針・重点課題	—	会計区分	介護保険特別会計	
	法定受託事務の有無	無	予算区分(款-項-目)	3-1-2 一般介護予防費	
	その他(関係計画、要綱等)	有	長久手市第8次高齢者福祉計画及び第7期介護保険事業計画		
	事業開始の背景、経緯等	平成29年4月から介護保険法の改正により、高齢者に対して、地域の実情に応じた効果的な介護予防及び日常生活支援を行うことが定められたため、全ての市町村が「介護予防・日常生活支援総合事業」を開始することになった。			
市民・民間事業者との連携協働の可能性	両者と協働可	(両者と協働不可の場合はその理由)			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 市民をはじめとする多くの主体の意欲や能力を最大限に発揮し、地域ごとの特性に合わせた健康づくり活動、支え合い活動等が創出されるような支援を推進する。
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 主として、市内在住で要介護の認定を受けていない65歳以上の人(要支援認定者、チェックリスト対象者を除く。)
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 上記事業に参加することで、高齢者自身の介護予防になることに加え、参加者間の交流の機会を創出し、自助、互助の力を高められるため。

コスト推移	項目	単位	区分	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)
	事業費(A)	千円	予算	31,925	38,333	39,133	38,907	33,198
			決算	28,434	34,122	30,523	28,926	
人件費(B)	千円	決算	10,514	19,298	13,157	13,290		
総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	38,948	53,420	43,680	42,216		
事業対象の数(D) (R4年度は想定数)	人		7,953	8,140	8,588	9,143	-	
対象あたりコスト(C/D)の 過去3年平均値	千円		4	5	6	4		

成果推移	成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)
	健康づくり活動の場への延べ参加者数	人	目標	10,000	12,000	7,000	9,000	9,000
			実績	9,893	8,153	8,091	7,285	
(指標の設定根拠) 意欲や能力のある市民に参加していただき、地域での健康づくり活動や支え合い活動の機会が提供されることにより、高齢者に役割と居場所があるまちをつくるため。 (前年から指標を変更した場合はその理由)	(数値目標の根拠) 新型コロナウイルス感染症対策による高齢者の外出自粛の影響があるものの、感染対策を十分に行った上で「通いの場」等を実施することにより、参加者数を維持できると考え、目標を設定。引き続き、市内事業所など市内の地域資源と連携して通いの場を維持する。							
(前年までの指標)								

これまでの振り返り	目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) R3年度の健康づくり活動の場への延べ参加者数について、これまで多くの高齢者に参加していただいたシニアフィットネスを市の事業から委託事業者の自主事業としたこと。新型コロナウイルス感染症拡大による高齢者の外出自粛、緊急事態宣言期間中の一部事業の中止などがあったが、十分な感染症対策を行うことで、教室を継続し、多くの高齢者に参加していただくことができた。
	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 高齢者のニーズを把握して、多様な教室を開催するなど参加者層の拡大をさらに意識して進める必要がある。
	改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) 事業参加による個人の状態変化の分析をし、本人にフィードバックし、事業への継続参加を推進する。また、分析結果をもとにした効果的な教室の実施に努める。

事業を構成する事務事業①	事務事業①	ワンコインサービス事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)
	(1) 有償ボランティア(支援者)による支援回数(単年)	回	見込	1,300	2,700	2,800	2,900	3,000
			実績	2,301				
	(2)		見込					
		実績						
(3)		見込						
		実績						
<備考:活動の概要(R3年度(2021))> ワンコインサービス 利用支援回数2301回 (R4.3末時点) ※令和元年度から令和2年度にかけて実績が急増したため、現在の状況を踏まえて目標値を設定し直す。							今後の方向性	拡充

事業を構成する事務事業②	事務事業②	地域いきいきライフ推進事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)
	(1) いきいきライフパートナー登録者数【単年】	人	見込	100	100	110	110	120
			実績	66				
	(2)		見込					
		実績						
(3)		見込						
		実績						
<備考:活動の概要(R3年度(2021))> どこでもいきいき教室180回、いきいき倶楽部170回							今後の方向性	拡充

事業を構成する事務事業③	事務事業③	/						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込					
			実績					
	(2) 【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】		見込					
		実績						
(3)		見込						
		実績						
<備考:活動の概要(R3年度(2021))>							今後の方向性	

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 事業の意図及び事業参加のメリットを適切に広報し、参加者層の拡大及び自発的な活動につなげていく。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 2023年を目処として、市民、企業等様々な主体の自発的な活動へと移行させていく。

内部意見	総会計担当、財政担当、行政改革担当による意見	・事業実施にあたっては、第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえるとともに、長久手市みんなで作るまち条例の趣旨に沿ったものとなるよう留意してください。 ・交付金を最大限活用して、効果的な事業実施に努めてください。 ・市民との連携協働の可能性が「有」のため、事務事業での市民参加について模索してください。
	内部意見への回答	